

第 29 卷 目 次

(* 印は欧文)

*阿江 茂：フィリピン産蝶類数種の幼生期と休眠について……………	227
阿江 茂：種間雑種よりみたナガサキアゲハ群5種の系統的關係(会)……………	246
江島正郎・邑上益朗・吉田喜美明・里山俊哉：ツシマウラボシシジミの生活史……………	47
原 聖樹・伊藤正宏：姫川谷における <i>Luehdorfia line</i> の研究(3) ——種間雑種の出現は人為か(?)——……………	246
*林 寿一：ボルネオ産 <i>Narathura</i> の1新種……………	67
*林 寿一：レイテ(フィリピン)における <i>Narathura staudingeri</i> の新記録……………	88
*林 寿一：ミンダナオにおける <i>Tajuria igolotiana</i> の新記録……………	96
*林 寿一：ミンダナオ産 <i>Narathura bazalus</i> と <i>Tajuria dominus</i> の1新亜種……………	114
*林 寿一：ミンダナオ産シジミチョウ類(新属・新種・新亜種の記録を含む)……………	164
*林 寿一：ミンダナオ産 <i>Dacalana sannio</i> の1新亜種……………	169
*林 寿一：ミンダナオ産 <i>Narathura</i> 属と <i>Deramas</i> 属の新種……………	171
*林 寿一：ミンダナオ産 <i>Poritia philota</i> の1新亜種……………	209
*林 寿一：ミンダナオ・アボ山産 <i>Ptychandra</i> 属の3新種……………	211
*林 寿一：ミンダナオ・アボ山およびルソン産 <i>Jamides</i> 属の2種について……………	220
*林 寿一・Schroeder, H.・Treadaway, C.：ミンダナオ産 <i>Rapala</i> 属と <i>Sinthusa</i> 属の新種……………	215
日浦 勇・宮武頼夫・富永 修・西川喜朗・桂孝次郎：対馬産タイワン モンシロチョウについて——ピエリス・ノート2——……………	97
本田 計一：アゲハチョウ科数種の幼虫の臭角分泌物 ——とくに同属種間における化学成分の比較——(会)……………	244
井上 寛：日本・韓国・台湾のアゲハモドキ属……………	69
井上 寛：最近アメリカから移入されたツトガの1種について(会)……………	248
石井 実：ギフチョウ蛹の成分分化——温度・日長によるコントロール——(会)……………	249
加藤清一郎：アンボン島(インドネシア)で採集したタテハチョウ……………	77
川床 正治：モンシロチョウの発香鱗のはたらきとシロチョウ科2種のアルコール抽出物について(会)……………	243
喜多 斉：和歌山県でヤクシマヨトウを採る……………	76
岸田 泰則：台湾のトガリバガ科について(会)……………	245
小池久義・酒井清六：鱗翅目成虫の翅の斑紋の定量的解析(会)……………	247
小嶋 研二： <i>Melanargia epimede</i> を初めて北海道利尻島より記録……………	207
葛谷 健：クモガタヒョウモンの1異常型と食草……………	46
葛谷 健：コムスジの越冬幼虫……………	66
前木 孝道：鱗翅類の染色体について(会)……………	244
牧林 功：アゲハチョウ科における前翅R脈の進化について(会)……………	245
増井 武彦：四国の蛾の分布資料(Ⅲ)カトカラ4種の新産地について……………	149
宮田 保：蛾類の季節的多型現象を支配する要因(会)……………	244
森中定治・小池久義：オオムラサキについての二三の観察・実験(会)……………	247
*村山 修一：東南アジア産蝶類数種(1新種と1新亜種の記載を含む)……………	153
村山 修一：ウスリーおよび朝鮮の蝶若干種……………	159
長澤純夫・山野忠清・曾田泰弘：エゾスジグロシロチョウ幼虫の頭幅の齢期間成長……………	223
中島 秀雄：フユシヤクの生熊(会)……………	250

中西明德・福田晴夫・二町一成：フィリピン産ソトグロカバタテハとキミスジの幼生期（会）	248
大和田 守：和歌山県のヤクシマヒメキシタバ（会）	249
坂部元宏・古川照永：オオミノガの羽化期の種の特異性に関する知見	236
新川 勉：ピエリス類の香鱗周辺部と特異性について（会）	244
*柴谷 篤弘・Grund, R. B. : <i>Thecilenesthes onycha</i> 群の再検討	1
杉 繁郎：オオシモフリスズメの分布（会）	248
鈴木 芳人：ベニシジミ雌の交尾回避行動	129
高橋 昭：モンシロチョウの生態に関する若干の知見（会）	243
*高橋 真弓：“奥アマゾン探検，1973”によって主としてコロンビアにおいて採集された トンボマダラ亜科	89
*高橋 真弓：南米コロンビア，サンタ・マルタ山群産 <i>Pronophilini</i>	139
高橋 真弓：“ヒメジャノメ”の亜種間雑種と“種”の再検討	175
高橋 真弓：ヒメジャノメの亜種間雑種と“種”の問題について（会）	246
竹束 正・秋沢稔浩：高知県のベニモンカラスシジミについて	239
田中 蕃：日本産 <i>Ladoga</i> 属の幼生期の食草と分布	35
田中 蕃：鱗翅目と同翅目および膜翅目昆虫との相互関係成立についてのある推論（会）	247
築山 洋：フィリピン産のホリシャアカセセリ <i>T. ancilla</i> の亜種名について（会）	245
上田恭一郎：コウモリガの雄交尾器の形態とその名称の変遷	191
海野 和男：蝶の行動. <i>Papilio</i> 属, <i>Gonepteryx</i> 属, ミドリヒョウモンの求愛飛翔と スジボソヤマキチョウの交尾期についての二三の観察（会）	249
*保田 淑郎：アジア産 <i>Ceracini</i> の記録と記載	117
矢田 脩・福田晴夫・二町一成：フィリピン産シロチョウ科の幼生期について（会）	248
矢崎 克己：日本産 <i>Trichopteryx</i> 属の1新種	111

発行日付

第1号, 1—66頁	1978年3月1日
第2号, 67—116頁	1978年6月1日
第3号, 117—174頁	1978年9月1日
第4号, 175—250頁	1978年12月1日